

for adult only.



「逃げられない。」

-No Escape-

# 逃げられない。

Aug, 14, 2016

**Mail:** [takka@comet.ocn.ne.jp](mailto:takka@comet.ocn.ne.jp)  
**URL:** <http://sonicwin.web.fc2.com/>

Presented By: SONIC WINTER ANNEX  
Produced By: 月島隆冬 / 君羽眠  
Printing Office: PICO 様

■本書内容の無断転用、無断アップロード、  
ファイル共有等を固く禁じます。

■本書は成人向けです。18歳未満の方の  
ご購入は出来ません。



# SHIROU

■初めましての方もご無沙汰して  
ますの方も今日は。SONICの  
月島隆冬です。いや久々(汗)

という訳で昨年冬コミ以来約8ヶ月  
ぶりとなる今回の夏コミ新刊は本来  
春頃には出す予定だった「灰と幻想の  
グリムガル」のシホル本です。  
かねてよりブログ等で告知していた  
通り、今までのサークルとは違う  
新たなブランドでの第一弾…の筈  
だったのですが諸々の事情で中途  
半端になってしまった為 orz 今回は  
引継ぎみたいな感じの一冊と言う  
事で一つ宜しくお願い致します。

という訳で改めまして皆様こんにちわ。君羽眠  
(きみはねむる)と申します。一応新サークルの  
暗い方(笑)を担当する予定の作家でして今回は  
グリムガルのシホルバッドエンドみたいな感じに  
描きました。気に入ってもらえたら幸いです。

## *Preface*



# Memory

-メモリーなんていない-

君羽眠



…眠れない— …



うらんで…眠れない

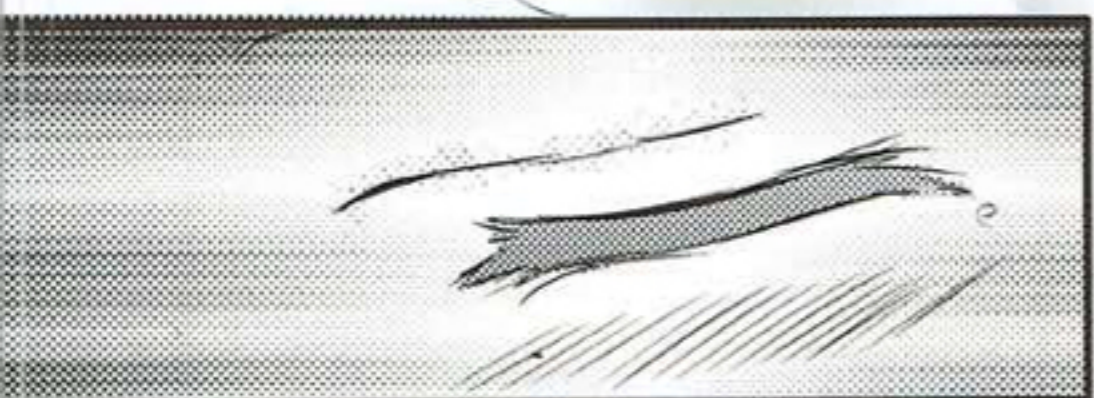


汗ばんで…気持ち悪くて…

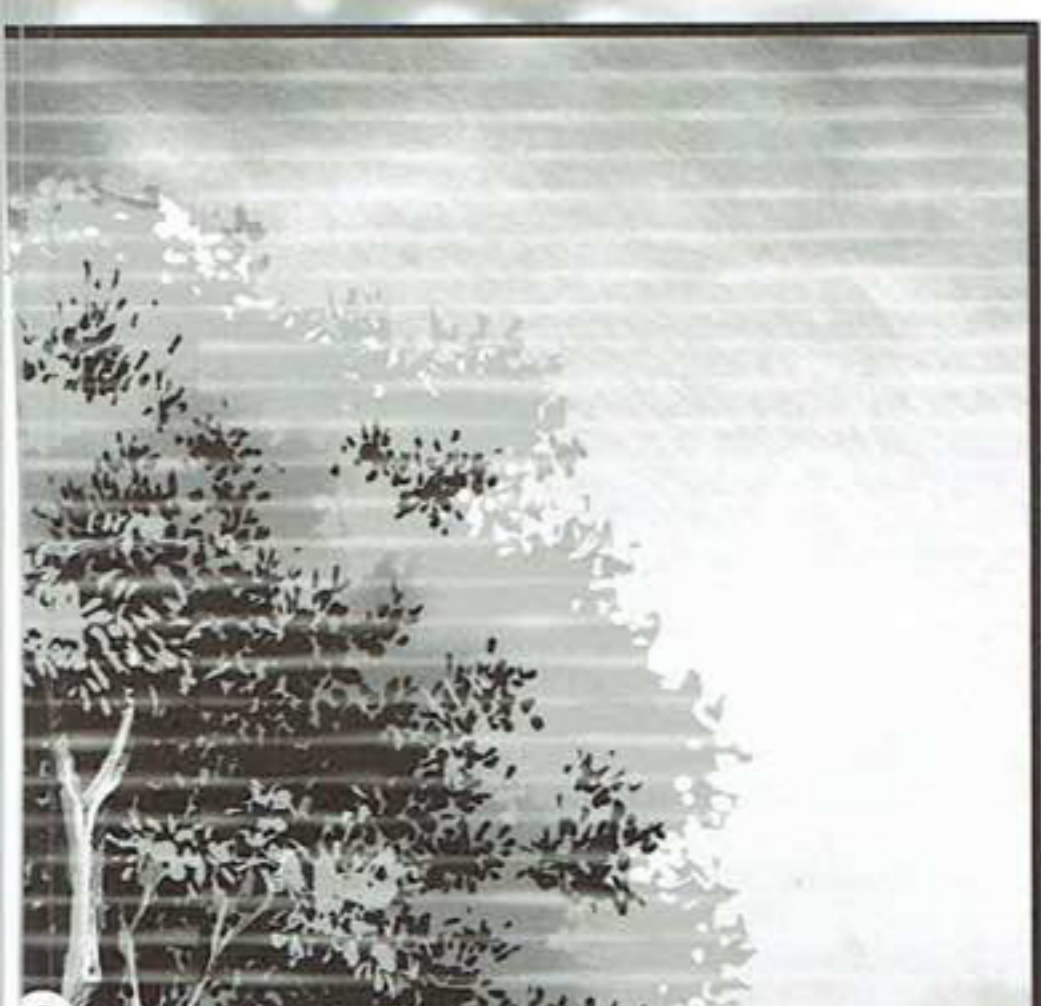
だからって…ひよこ  
こんな時間に…  
こんな所に来て

私…何を言っ  
てんだ…

うた…



……いないのに……



記憶がないまま  
こんなところに  
放り出されて…

流されるまま…  
毎日を生きる事で  
精いっぱい—

不安で…怖くて…  
毎日仕方なかった

もっと…頑張ら  
なくちゃ—…  
……でも……

また…みんなの  
足を引っ張ったら  
どうしよう—…

それでも…何とか  
がんばり続けて  
来れたのは—…

…あなたが—…

平気……？

ほ……ほ……



……くれたから……

え……っ……  
ありがとう……

やっと……  
話せた……

……

いっしょ……側にいてくれた……

よかった……

……くれたの……

HURU

戻ろう

あなたのお陰で  
今まで頑張れた  
のに……

もう私……  
わからないよ  
……何もかも……

あやば

なんて……馬鹿  
だったんだろ……

マナツくん……

……私は……

もう……二度と  
話せない……  
……どうして……

……どうして……  
……どうして……

……  
もう……

……これから……  
……どうしたら……

戻らな  
きゃ……

おや……

もうお帰り  
ですかい？





だ...誰なの?  
この人たち...

そうそう!  
夜はまだ長いん  
だからさ...  
いいでしょ?

なんなら  
俺らも一緒に  
つきあって  
あげるからさ

もうちよいて  
ゆっくりして  
行こうぜ?  
お嬢ちゃん



おおっと!  
ごめんよ!

驚かしちまっ  
たか...へへ  
...でもよお



...しかし  
驚いたぜ  
実際



なんの気なしに  
散歩に出てみたら  
カワイコちゃんが  
一人で歩いてる  
じゃねえか...で

こっそり後つけて  
みたらよ...いやあ  
まさかこんな美味い  
場面に出くわすとは  
思わなかったぜ!

う...うそ...!  
私...今まで全部  
見られて...!!

へへへ…  
ばっちりと  
おがませて  
貰ったぜ

さっ

さっ

…逃げなまじや

ただ如何せん  
遠かった上に  
暗くってなあ

そうそう！  
それでもう少し  
ちやんとね

……

こ…この人達  
私を…

君のその綺麗な  
身体を堪能させて  
貰いたいなあ

て事でよ

これも縁だし  
仲良くしようぜ  
お嬢ちゃん！

イ

いい…いい  
いやっ…いや

…でも…服があっちら…

だめ…  
迷ってちゃ

………



あっ……

いやああっ

……！

……

（は）

（は）

（は）

で……どうする？  
このままここで  
やっちまうか？

……みんな……

……マナアへん……



しっかし本当  
いい身体して  
やがる……へへ

面はてんで  
ガキなのに  
なあおい！

誰か——

（はあ）

ふん……  
そうするか

いや……誰か来ても  
厄介だしな——  
やっぱ例の場所で  
じっくり行こうぜ



きゃああっ

さ...さ

こ...  
来ないで...

ふふ...もう逃げられ  
ないよ...さてと  
そんじゃお先に堪能  
させて貰うとするか

ちっ...仕方ねえ  
さっさと済ませ  
やがれよ

もうだめ...  
もうごうごうの事  
できない...

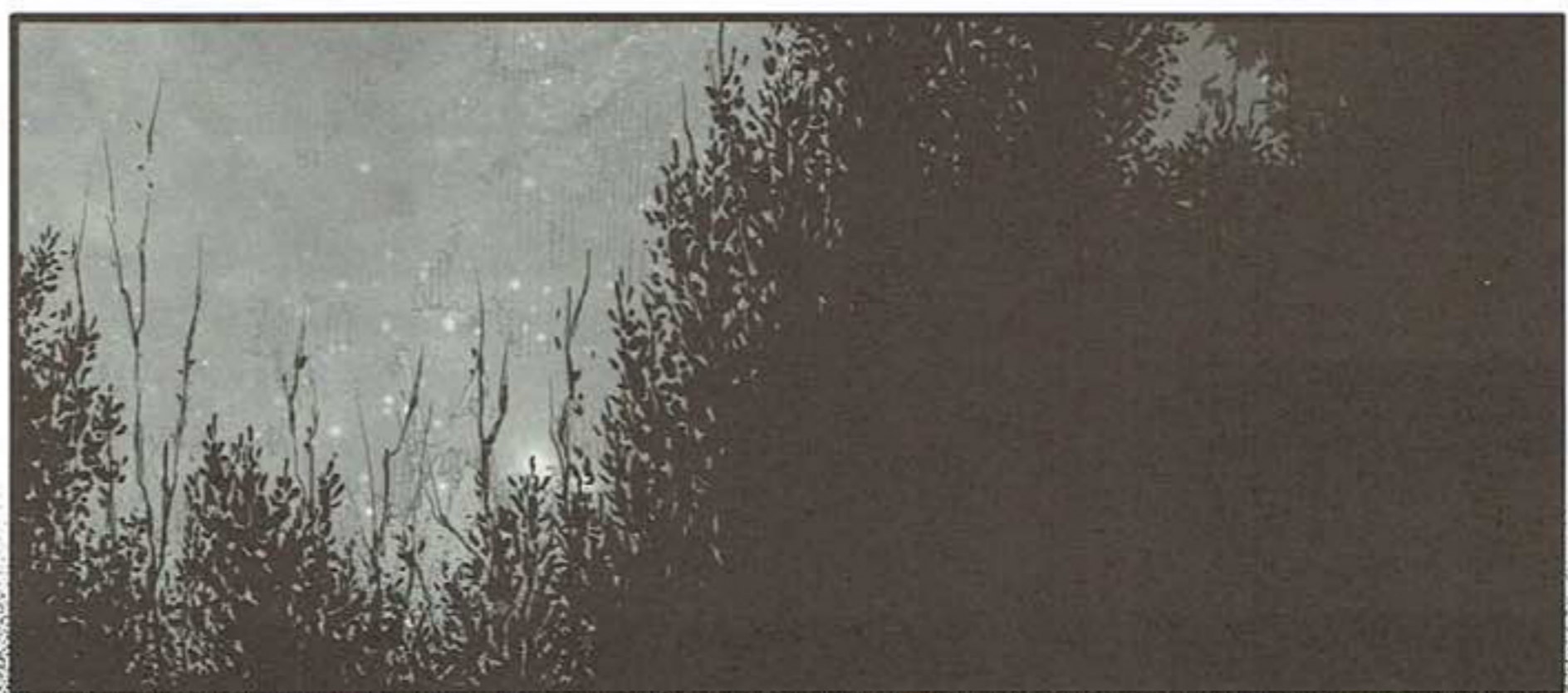
わかってる  
わかってる!  
いやあ楽しみ  
だなあ本当!

君やっば処女?  
そしたら俺が  
初めての男かあ  
光栄だねえ...  
それじゃ...

さ...

いやああ  
ああっ...

どうして……こんな事に……なつて……。



— どうだい？  
お嬢ちゃんよお  
ぼちぼち— …

身体の方も大分  
馴染んできたん  
じゃねえか？

それだけ薬の  
効きがいいって  
事じゃないか

すっかり大人しく  
なっちまったぜ  
この女—

さっきまでは  
あんなに喚いて  
たのによお！

息が段々艶めいて  
来てるぜ…へへへ  
— 俺のチ○ポで  
感じてるんだろ？

それに…何より  
初めてだったし  
ねえ— ふふ…  
— 馳走様！

…マナトくん…私

汚れちゃった…

あ

あ

……

あ

さっきはあんなに痛くて……気持ち悪かったのに……

なんで…私…もっごうなの…馴染んでるの…?

あ



へっ…いい感じに  
盛り上がってきたな  
それじゃあまず  
一発いくかあ

ぼん

や…やめ…ッ  
お願い…!

…っ…

だめえ…!  
だめえッ…!

安心しなあ!  
膣内には出さねえ  
からよお

こんな…こんな  
汚らわしい人に  
犯されてるのに

イクぜえ…  
お嬢ちゃん  
…うらあ!

こんな…!

ふう…!  
…へへ…  
良かったぜ

胸だけじゃなく  
下の方も中々に  
具合がいいな

だろ?  
最高だよ

…こんな…



それにしても  
いいイキっぷりだぜ  
さつきまで処女だった  
とは思えねえな

一人で勝手に  
抜け出して…  
汚されて…

みんなにもう…  
顔を合わせられ  
ないよ…私

まったく—  
薬のせいだけ  
とは思えない  
よねえ

…  
さごと

じゃあ次は  
また俺の番  
って事で…

今度はじっくり  
…あちこち楽し  
ませてもらうよ

そ…そんな  
—…

どうなっ  
てしまうの…  
?

またまた

こんなに乳首  
勃起させてえ  
!

これ以上  
犯されたら  
私…

ああ…でももう  
逆らえない—  
体から力が抜けて

ホントいいねえ  
この感触…ふふ  
たまんないよ

しかし君さあ  
一応犯されてる  
つてのに—

ふあつ…!  
あああ…つ

こんな素直に  
感じちゃうなんて  
よっぽどのスケベ  
なのかなあ?

そ…そんな  
ちが…っ…

嫌なのに…  
気持ち悪いのに  
…胸が…身体が  
おかしく…な…

どっかで見た  
コトある気が  
するんだよね

いいって  
いいって

…そういや  
思い出したん  
だけど—  
俺さあ君の事

そうそう!  
思い出した  
—!!

あ…

うーん…  
どこだったか  
—あ!

君さ—  
魔法使い…  
だろ？

な…なんで  
私の事…ん…  
知…つ…て…っ…

な…なに…  
この人…？

ああやっぱり！  
いやあ前に街で  
何度か見かけた  
事があつてさ…

可愛い顔して  
おっぱい大きい  
からさあ—  
覚えてたんだよ  
ね…

…っ…か…  
…可愛い…  
…なんて…

いやいや  
こんな可愛い娘と  
組めるなんて—  
仲間が羨ましいよ

…私…は…  
…そんな…っ

へへ…  
全くだぜ！

あ—  
あ—  
ああんっ…  
…ッ…！

ジュン…



私...こんな所で...  
こんな人たちに...

5...58

こ...  
来ないで...

ふふ...もし逃げられ  
ないよ...さてと  
そんじやお先に堪能  
させて貰うとするか

ちっ...仕方ねえ  
さっさと済ませ  
やがれよ

わかってる  
わかっている!  
いやあ楽しみ  
だなあ本当!

辛くて...悔しくて仕方ないのに...  
なのに...どうして私...

君やっぱ処女?  
そしたら俺が  
初めての男かあ  
光栄だねえ...  
それじゃ



い...

いやああ  
ああ...



だめえ...!!  
ん...

や...や...  
お願...  
い...

へっ...いい感じに  
盛り上がってます  
それじゃあ  
一発いくか

安心しな...!  
膣内には出さねえ  
からよお

こんな...こんな  
汚い人...  
に...  
おま...  
されて...  
の...  
口...

イクぜえ...!  
お嬢ちゃん  
...うらあ!

か...  
か...  
か...  
か...

こんなに  
気持ちいい...



あんな...あんなひどい事を  
されて...  
汚されて...

...それなのに...

こんな...  
気持ちになるの...?



ふふ…  
トロトロ

こんなに溢れ  
させちゃって  
悪い子だねえ

ふあ…あつ  
あん…っ…

だめ…ダメ  
もうやめて…  
私もう…っ

そうだね…  
—頃合かな

もう…声を  
抑えられない  
…

あつ



！…いや…  
お願い…

だめだめ

そんなグツシヨリ  
させてるんじや  
説得力ないから…  
さ—もう一度

この人と—っに  
なっちゃう…

ああ…また  
挿れられて  
しまう…

マナトくん  
…

入るよ…  
シホルの中

あ…ああ  
…

だめええ  
ええっ…



やあし...あ  
.....!

イヤあああ  
ああ...っ...  
.....!

あー！  
熱い！

さつきとは随分  
反応が違うねエ  
ふふ…薬が完全に  
回っちゃったか

おやおや  
……

あ…あ…  
ああつ…

い…いや…  
言わないで  
お願い…

俺のが根本まで  
完全に入ってる…  
繋がって…完全に  
一つになってるよ  
俺たち— ふふ

さて…さつきは  
痛くしちやった  
けど— 今度は  
ちやあんと

気持ちよくして  
あげるからね…  
シホルのこと！

じゃ動くよ…  
ふふ—

ふああつ…  
あ…つ…  
やあ…んつ！

おうおう—  
随分といい声  
出してんじゃん







…っ…あ！  
はあんっ…  
…！

やっ…  
のんっ



興奮して  
くるなあ…  
挿れるよ

綺麗なお尻だ  
上気して凄  
いやらしいよ



…こんな…  
恥ずかしい格好で  
一つになっちゃう  
なんて…

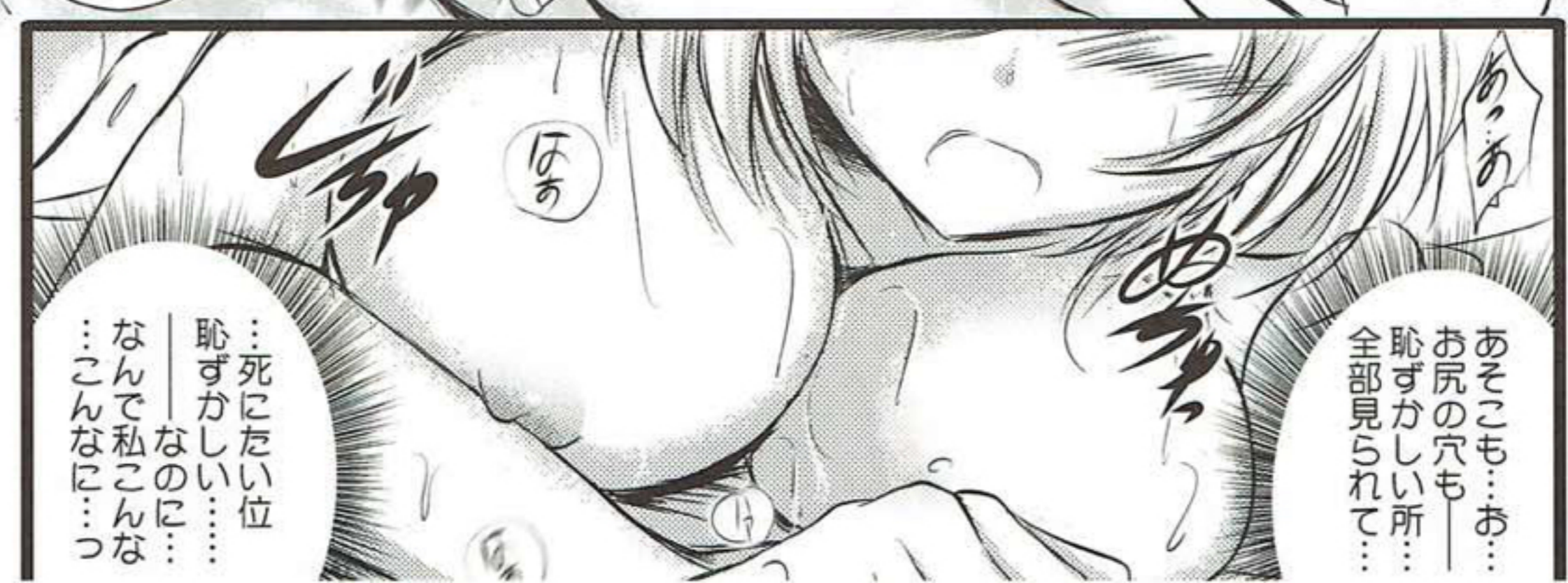
汗ばんだ背中  
色っぽいし…  
それに…

いやあ最高…  
すっごくいい  
眺めだよ！

可愛いおしりの  
穴まで丸見えだ  
ふふ…ヒクヒク  
言ってる

い…いや…  
いやっ…！  
こんなの…

だっだめ！  
おねがい！  
見ないで…



…死にたい位  
恥ずかしい…  
…なの…  
…なんで私こんな  
…こんなに…っ

あそこも…お…  
お尻の穴も…  
恥ずかしい所…  
全部見られて…



いやあほんとに  
ヤバイねシホルの  
エロさは…さっき  
出したってのに

こんなに…  
気持ちいいの  
—？

「あれ…  
ちやうど…」

もうまた  
ぶち撒けたく  
なってきたよ

…あんなに  
辛かったのに  
もう…全てが  
どうでもよく

……



で…物は  
相談なんだ  
けど—

え…

出しちゃって  
いい？—  
シホルの膣内なか

もう歯止め  
効かない  
から…

ええっ!?

う…  
うそ…っ…



おいおい  
マジかよ

せ…っ…  
精子を膣内まごに  
射精されちゃっ  
たら—に…

赤ちゃんが  
出来ちゃっ  
…

次はお前も  
やりやあ  
いいって

…に…  
妊娠…  
しちゃう

だ…  
だめ…

それだけは  
ダメええっ  
…!

だめっ…  
だめええ!

駄目駄目!  
もう逃げられ  
ないって!

い…いや!  
そんなの…

そんなに嫌がら  
れると却って  
興奮しちゃうん  
だよねえ…

罰として沢山  
出してあげる  
からね

へへ…もし  
出来ちゃっ  
たらさあ…

俺の子供…  
産んでくれる  
—?

やつ…はああん!  
お願い…んっ…だ  
…からあつ…!

いやあいいね  
すっげえそそる  
—!

!!い…  
いやっ—

こ…この人  
本気だ…!!

あ…お願い!  
それだけは…

そんなことに  
なったらもう…  
みんなの所にも  
帰れない—!

マジやば…  
めっちゃ興奮  
してきた  
ガチで孕ませ  
てえかも…ツ

やべえよオイ  
さっさと出して  
替われって!  
なんやわ

それだけは  
許してえつ  
—!!

おねがいっ…  
お願いだから…  
! やっであ…  
あはあんっ!

だめだめ! そんな  
声で言っても全然  
説得力ないって

…と…  
そろそろ限界だ  
準備いい?

マナトくん…  
みんな…ごめんね  
私…もうだめ…  
帰れない…

へへ…諦めろよ  
お前はもう俺らの  
物なんだからよ

この人たちの…  
子供…妊娠…  
しちゃう…

へへっ…それじゃ  
出すよ—ッ  
たっぷりと膣内に  
…っ—!!!

だめだめ?  
だめだめ?

だ…だめ…  
ぽん…っ…！

いい…いい…  
いぢめ…！

赤ちゃんか  
出来ちゃう…  
…あ…  
ああーっ…！

…っ…ふっ…  
ああ…いいね  
最高だよ本当…

わかる？  
奥で俺のが  
ビュンビュン  
出てるの

ああ…  
出されてる…  
中に…いっぱい  
妊娠…

ああっ…  
あ…っ…

ふうー…ふふ…  
もうシホルの中さ  
俺のでいっぱい  
なってるよね

ちっ…全く  
羨ましいぜ

初体験も  
初中出しも  
俺が全部  
貰ったよ

もうだめ…  
もどれないよ…  
みんなのじ…

…あ…

ふう…  
凄いや

ふうっ

まだピンピンに  
硬いまままだ…  
あと二回くらい  
行けそうだよ

次はお口か胸か  
ふふ—いやあ  
楽しみだなあ！

しゃ

ま…その前にまず  
こいつの相手をね  
すまんねお待たせ  
しちやって—

へへ…漸くか！  
待ちかねたぜえ  
…そんじやまあ

たっぷりと  
楽しませて  
もらうぜ

おら—！  
体起こしな

これでも結構な  
強豪だからよ  
…まあ戦力には  
ならねえとして

たっぷりと  
可愛がって  
やるぜ—

あ…

なあに安心しな  
きつちり責任は  
取ってやるぜ

「シホルを  
孕ませて  
ください」

お前はこれから  
俺らのパーティーで  
面倒見てやるから  
よ—へっ

その証に立って  
ケツ向けて…  
こういういな

…つてなあ

へへ——  
お前みたいな  
弱い女はよ

マナトくん……

犯されている間ずっと……  
辛くて悲しくて——でも……

その辛さが……あなたがいない  
辛さを……消してくれて——

その辛さに……私はいつしか  
逃げてた——こっちが……  
こっちの方がマシだって

ごめんなさい……私もう——頑張れない……

俺らみたいなのに  
守られる以外……  
この世界で生きる  
道はねえんだよ

そして私を——……  
私のこと可愛いって……  
言ってくれた人たちと  
エッチ……してるうちに

頭の中……ほかの事なにも  
考えられなくなつて——  
楽になつたの……心が……

……このまま楽になつてしまいたい……

あなたがいない世界に——耐えられない

な——……  
楽させてやるから  
……俺たちのモノに  
なっちまいな

——ツライノハ……モウイヤナノ……

……だから……



もうどうなっても  
いい——きここと  
これ以上に……

今より辛い「今」  
なんて……  
絶対にないから

だからお願い——  
どうなっても……いい  
何だって……するから

私を——！  
シホルの事……

——孕ませよう——。

……マチアとシジュ……

……孕ませよう……  
……

END

「逃げられない。」

